

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

多忙な日々を癒す極上のミステリー
東野 圭吾著 / 『素敵な日本人』

光文社

小説

意外性と機知に富み、四季折々の風物を折り込んだ極上の短編ミステリー9編。登場する人物がどこか知人に似ていたり、読者自身にも経験のあるトラブルだったり、つい思い浮かべてしまう妄想の具現化だったり、読み心地はさまざま。多彩な短編ミステリーが日常の倦怠(けんたい)をいやしてくれる、おすすめの1冊です。

食べものを「干す」食文化の不思議
森枝 卓士写真・文 / 『干したから…』

フレーベル館

児童書

私たちのまわりには干した食べ物がたくさんあります。どうして干すのでしょうか。干すことで何が変わるのでしょうか。食卓のなかにひそむふしぎに迫ります。世界中を旅し、いろんな食べ物を撮影してきた著者のユニークな写真絵本。干し野菜の作り方も紹介されているので、ぜひ親子で楽しんでいただきたい一冊です。

本町生まれの風土建築家の生涯
国梓 としひで著 / 『風に立つ石塔 風土建築家・清村勉伝』

沖縄建設新聞

一般書

明治7年甲佐町豊内に生まれ、熊本工業学校で建築を学び、沖縄へ渡った清村勉氏は多くの業績を残しました。耐震技術が普及する関東大震災以前に、沖縄でコンクリート建築を日本で初めて手がけ、亜熱帯の厳しい自然に耐えうる建築をと、一心不乱に身を削った清村勉氏の生涯。建築関係のみならずたくさんの方に読んでいただきたい本です。

いつもと違うBBQで夏を楽しく
BBQレシピタンク監修 / 『かんたん&おしゃれなバーベキューの人気レシピ』

立東舎

教育・娯楽

メインディッシュはもちろんおつまみからデザートまで、アウトドアレシピサイト「BBQシンクタンク」の料理の中から、簡単に作れておしゃれに仕上がる人気のレシピ76点を厳選し、撮り下ろしの写真とともに紹介しています。いつもと違うBBQで夏のアウトドアがさらに楽しさ倍増すること間違いなし。大いに盛り上がってください。

町生涯学習センター図書室のご利用について

- 開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

町の図書室から、会話をしながら出て来る親子。幼い子が持つ手提げには、数冊の絵本が覗いています。「家に帰って、絵本を読んでね。」と話しているのでしょうか。新しい本との出会いに心弾む様子が感じられます。

私も担任をしていた頃に、子どもたちに読み聞かせをしていたことを思い出します。給食の時間のはじめの5分ぐらい、図書室から借りてきた本を読んでいた。本を開いて読み始めると、前の日の話の続きに皆の関

今月の案内人

竹田 泰司さん
〔和田内区〕

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『エルマーとりゅう』(ルース・スタイルス・ガネット著)
「エルマーのぼうけん」の続編。ぶじ動物島を脱出したエルマーとりゅうが、「知りたがり病」という病気をめぐって大活躍する冒険物語。

心がずっと集まってきます。低学年の子どもたちが特に好きだった本は、「エルマーのぼうけん」「エルマーとりゅう」「エルマーと16びきのりゅう」のシリーズでした。リュウの子どものボリスは、“どうぶつ島”に墜落して動物たちに捕らえられてしまいます。年をとったのらねこからそのことを聞いた勇敢な少年エルマーが、ボリスを助け出しにいくという冒険物

語です。読み聞かせを終えた本を図書室に返しますと、すぐにその本を借りて自分たちで読んでいました。子どもたちは、何度も読むことで、さらに想像を膨らませてお話を楽しんでいるようでした。きっと今頃、あのお子さんも、おうちの人と一緒に絵本のおもしろさを味わっていることでしょう。

◀町民大学

開講式および講演会

5月26日(金)町生涯学習センター・ホールで、平成29年度甲佐町町民大学開講式および講演会を開催しました。

蔵田勇治教育長の主催者あいさつの後、県文化財保護指導委員で町文化財保護



▲当町の身近な文化財について石坂さんが分かりやすく解説

委員の石坂妙さん(吉田区)を講師に迎えて「甲佐町の文化財雑感」と題して

講演会を行いました。

石坂さんは、六地藏など身近な史跡について、参加者へ入門編的に分かりやすく解説。また、昔からの言い伝えなど例示しながら、本町の文化財に関して貴重な講演がありました。

講演の終了時に、村上浩二公民館長から、「日ごろ何気なく見過ごしている地蔵さんも、これからは今日の話の思い出して、史跡など新たな気持ちで見えて廻りたい」と謝辞を述べました。

◀出前講座・大町区

「熱中症」

5月26日(金)大町公民館で、「熱中症」をテーマに出前講座を開催しました。町総合保健福祉センター高倉美保健師が、熱中症

の症状に応じた正しい対処方法などを説明。「これらの季節は、湿度や気温が高くなり、特に高齢者の方



▲熱中症予防、対処法について説明する高倉保健師

は、体温調節が難しく、熱中症にかかりやすい」と、注意を促し、熱中症の予防には「こまめな水分補給、涼しい服装、エアコンなどを上手に使うことと、日ごろから体にややくいと感じるくらいの運動の継続と、良質な栄養を摂ることが大切」と力説しました。

▶公民館自主講座

甲佐町公民館自主講座の受講生を募集しています

町公民館では、生涯学習としての公民館講座(自主講座)の充実を図る取り組みを努力目標に掲げ下記の自主講座を開催しています。随時各講座の募集を行っていますので、ぜひ参加してみませんか?

- ・手工芸教室(5講座)
- ・料理(2講座)
- ・文化、教養(7講座)
- ・音楽(3講座)
- ・スポーツ、健康(9講座)

各講座の詳しい内容については、下記へお問い合わせください。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

●平成28年12月16日、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行
同和問題とは、日本社会の歴史的発展過程で形づくられた身分的差別により、同和地区に生まれたまたは住んでいるという理由だけで、根拠のない言い伝えや偏見により差別され、基本的人権が保障されていないという重大な人権問題のことです。残念ながら、今なお、こうした人々に対する差別発言、差別待遇などの事案のほか、差別的な内容の文書が送付されたり、地名総鑑やインターネット上で差別を助長するような内容の書き込みがなされるといった事案が発生しています。差別や偏見に基づく行為は、他人の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されないものです。

町民が丸一となって、部落差別のない社会の実現に努めていきましょう。

●[部落差別の解消の推進に関する法律](抜粋)

第一条 この法律は、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、全ての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題であることに鑑み、部落差別の解消に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、相談体制の充実等について定めることにより、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現

することを目的とする。

第四条 国は、部落差別に関する相談に的確に応ずるための体制の充実を図るものとする。地方公共団体は、国との適切な役割分担を踏まえて、その地域の実情に応じ、部落差別に関する相談に的確に応ずるための体制の充実を図るよう努めるものとする。

第五条 国は、部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うものとする。地方公共団体は、国との適切な役割分担を踏まえて、その地域の実情に応じ、部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うよう努めるものとする。

第六条 国は、部落差別の解消に関する施策の実施に資するため、地方公共団体の協力を得て、部落差別の実態に係る調査を行うものとする。